

令和2年 8月市長定例記者会見

日 時：令和2年8月3日（月） 午後2時～

場 所：射水市役所会議室302

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、
NHK富山放送局、庄東タイムス、ホットライン KOSUGI、
時事通信

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、未来創造課長、総務課長、
上下水道業務課課長補佐

○質疑応答の概要

Q 1. 新型コロナウイルス感染症について、お盆の帰省ラッシュに、感染が流行している地域から人を呼び込むような流れに不安はないか。一方で、自粛しすぎると、回復基調にあった経済に水を差すことになるが、首長としての基本的な考え方を伺いたい。

A 1. 新型コロナウイルス感染症については、大都市圏での陽性患者の確認が大変増えており、全国に感染が広がりつつある状況が見受けられる。富山県でも相次いで複数の陽性患者が確認されており、射水市においても、先般二人の方の陽性が判明した。自分としても、新型コロナウイルス感染症については最大限警戒していなければならないのではないかと危惧している。特にこれからお盆を迎えるが、故郷を離れて大都市などで勉強やお仕事をしている方については、例年であれば帰省する時期であると思う。今年は新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している状況を踏まえて帰省の判断についても、感染防止対策などを十分にさせていただきながら、慎重にご判断いただきたい。また一方で、新型コロナウイルス感染症の影響で市内の経済も大変打撃を受けている。特に、観光客の方を対象としていた宿泊事業者・土産屋は大変大きな打撃を受けている。国の「GOTO キャンペーン」も始まっているが、こういった感染症の拡大リスクを考えて、活用を控えられたという方も多くいると思うが、活用される方についても、十分な感染防止に努めていただいていると考えている。市においても、こうした「GOTO キャンペーン」の対象となる事業者やお店などに関しては感染防止対策を十分徹底していただくことを重ねてお願いしている。みなさんそれぞれ感染症防止に努めていただきながら、消費活動にもご理解・ご協力をいただきたい。

Q 2. 「Welcome to 射水キャンペーン事業」は、そのまま執行するのか。

A 2. 「Welcome to 射水キャンペーン事業」は国の「GOTO キャンペーン」に合わせて事業を実施するもので、予算総額500万円を計上している。柱が二つあり、一つ目は「ツアー組み込み支援事業」、二つ目は「クーポン事業」である。「ツアー組み込み支援事業」は、旅行会社などが企画実施するツアーに射水市の観光関連施設を組み入れていただくことを条件に一人千円のツアー支援を行うというもので、9月1日から来年の3月31日までの期間で実施を考えている。現在この事業の申し込みについては、長野県・岐阜県・熊本県・岡山県からのツアー旅行企画に市内を組み入れた提案を受けている。「クーポン事業」は、インターネットによる予約サイトから県内に宿泊する県外からの観光客に対し、市内の指定のお店で使える千円分のクーポンを提供し、市内の誘客を図るとともに消費の拡大につなげるというもので、8月1日から12月31日までの実施期間としている。それぞれ感染防止対策の徹底を図りながら実施できればと考えている。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している状況にもあるので、感染状況を見極めながら事業内容を精査していく必要もあると考えている。精査というのは、感染防止にいかにかつめていくかの内容評価の協力をお願いすることで、最悪のケースでは実施してよいのか考える必要も出てくるかもしれない。今後の感染の状況を見極めていきたい。

Q 3. 最近射水市内で20代の二人の新型コロナウイルス感染症の感染が判明したが、市で把握している範囲の情報では、今のところさほど広がりはない程度にとどまるとみてよいのか。

A 3. 昨日、市内において感染症の陽性の方が二名公表された。射水市としては、県が記者会見で発表した情報以上のものは持ち合わせていない。今後濃厚接触者の方の検査の結果、また行動履歴などによって市内の公共施設の利用や不特定多数の方が来場する場での行動が把握された場合などは、県から正確な情報などがあるものと考えている。県との情報連絡を密にして、必要な情報を迅速に市民に伝えていきたい。

Q 4. 新型コロナウイルス感染症について、今日のお昼の時点では、公の施設や会社や事業所などを消毒してほしい、一緒に協力して対策を取ってほしいという情報は県から来ていないということか。

A 4. 行動履歴などの中で、市の公共施設などの利用については指摘されていない。